

# 長野市公共施設個別施設計画 【市民プール編】について

平成31年4月

長野市文化スポーツ振興部  
スポーツ課

# 1 市民意見募集（パブリックコメント）の概要

## 1 趣旨

長野市公共施設個別施設計画【市民プール編】の策定に当たり、広く市民の皆さんにご意見をお聞きし計画の参考とするもの

## 2 募集期間

平成31年1月25日（金）～平成31年2月25日（月）

## 3 募集方法

書面または電子メール等で募集

## 4 案の公表方法とパブリックコメントの募集案内

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| (1) 記者会見    | 平成31年1月22日（火）            |
| (2) 窓口での閲覧  | スポーツ課、行政資料コーナー、27支所      |
| (3) 市ホームページ | トップページ「市政への声」、スポーツ課の新着情報 |
| (4) 広報ながの   | 平成31年2月号（4ページ）           |

## 2 募集の結果

- 1 意見提出者 7名（持参1名、電子メール等6名）
- 2 意見等件数 17件
- 3 計画に対する意見・提案への対応

対応区分	集計結果	件数
1	計画を修正する	0
2	計画に盛り込まれており、修正しない	1
3	計画は修正しないが、今後の取組みにおいて、検討または参考とする	2
4	検討の結果、計画には反映しない	1
5	その他（意見に対する現状説明等）	13

## 3

## 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
1	<p>市内を3つのブロックに分ける方針とのこと。ブロックは広範囲であり、ここに1つのプールとするとのことだが、<u>利用しにくい環境となるのではないか。</u></p> <p><u>児童の水難対策として整備されてきた一面があることから安易な方向に向かっているのではないか。</u></p>	<p>アクセスや利便性の観点から市内を3つのエリアに分けて、市内に屋内プールと屋外プールがバランスよく配置されるよう考慮しました。</p> <p>水難対策については、小中学校の授業において、水難事故防止に関する取組を実施しています。</p> <p>なお、屋外市民プールについては、近年、レジャー目的での利用が多い状況です。</p>	5
2	<p>夏休みにおける小学校のプールは、児童を引率して歩くことによる熱中症の心配から利用に反対する保護者もいる。自宅近く利用できるプールが必要なため、<u>現在のプールを存続してほしい。</u></p>	<p>熱中症の問題につきましては、屋外市民プールも学校プールと同様です。</p> <p>市民プールは、地域施設ではなく、広域的な施設となります。安心・安全なプールの維持のため、全てのプールを維持することは困難であり、アクセスや利便性の観点から市内を3つのエリアに分けて、市内に屋内プールと屋外プールがバランスよく配置されるよう考慮しました。</p>	5
3	<p><u>現在のプールを存続した上で、利用しやすい環境を維持してほしい。</u>その際、現在の50mプールではなく、経費の削減を考え、25mプールにし、<u>幼児用プールも改修してほしい。</u></p>	<p>利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。</p> <p>なお、25mプールへの改修については、多額の費用が発生し、利用者も減少していく中、困難な状況です。</p>	5

## 3

## 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
4	<p>日焼けによる身体に及ぼす影響等、昔と違い黒くなる事について賛同する声はないが、<u>健康のためにはプールも必要なため、数か所統合することはできないか。</u></p>	<p>市内を3つのエリアに分け、それぞれのエリア内で屋外プールの統廃合を行い、最終的には各エリアに屋内プール1つ、屋外プール1つを存続します。</p>	2
5	<p>城山動物園も少年科学センターも市内外の子ども達が利用しており、創造力の芽をつむべきではない。</p>	<p>城山動物園や少年科学センターは、本計画の検討対象外です。これらを含め城山公園の再整備方針を検討しており、その結果に基づき判断してまいります。</p>	5
6	<p><u>北部と城山のどちらかを存続させる件について、城山は、改修費用が大幅に見込まれているが、多くの利用者があることや、城山動物園等の一体利用が可能なため、同プールの存続を希望する。</u>  <u>北部に関しては、子ども用プールが無いことなどから、アクアウィング等の近隣プールに利用者が流出している。</u></p>	<p>北部と城山市民プールは、城山公園の再整備方針によって、どちらかを存続するとしております。      いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	3
7	<p><u>北部と城山どちらかを廃止としているが、サンマリーンながのが出来たことにより、どちらもそれほど需要はないと思われる。城山は行くたびに閑散とし、年に2ヶ月弱の開場では到底コストに見合わない。</u>  <u>同地域は、城山動物園や少年科学センターがあり、駐車場不足が課題となっているため、プールを駐車場に変更すれば解消される。</u>  <u>動物園は、目玉となる動物が必要</u></p>	<p>No.6に同じ。</p>	3

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
8	プールの廃止には反対。全て残すべき。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。	5
9	利用者の意見を聞くべき。	利用されている方からは、「残してほしい」という要望があることは理解しております。 一方で、「需要に合わせて予算を適正に配分できているのか」という、利用していない方の意見も大切であると考えます。そのため、市民全体から意見を伺う方法としました。	5
10	以前に行われた利用者アンケートでは、子どもを遊ばせるため等の <u>子育ての理由が多く、このアンケート結果を市民に公開し、全利用者の意見募集を行って検討し直すべき。</u>	平成28年に行ったアンケート結果は、長野市公共施設適正化検討委員会の会議資料として、本市ホームページで公開しています。 利用されている方からは、「残してほしい」との要望があることは理解しておりますが、一方、利用していない方の意見も大切と考え、市民全体から意見を伺う方法としました。	5
11	北部市民プールは、養護学校や保育園等が利用しており、廃止には反対。改修して使いやすくすべき。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。 北部市民プールは、現在検討している城山公園全体の再整備方針によって、第2期統廃合施設として、城山と北部のどちらかを存続します。	5

## 3

## 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
12	城山市民プールは、市全域の憩いの場となっている。廃止には反対。	<p>利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。</p> <p>現在、城山動物園や少年科学センターを含め城山公園の再整備方針を検討しており、その結果に基づき城山と北部のどちらかを存続します。</p>	5
13	サンマリーンながのは利用料金が高すぎる。他のプールと同料金にすべき。	<p>レジャー性の高い施設であることから、施設の維持管理にかかる費用は一定程度を利用者の方にご負担をお願いすることを基本としています。</p> <p>料金については、今後、運営状況を検証し、検討してまいります。</p>	5
14	少子高齢化を克服して、 <u>地域の活性化を図っていくためには、使いやすいプールとしていくことが求められており、<u>プールの廃止には反対。</u></u>	<p>利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。</p> <p>存続するプールは、魅力向上を図るとともに安心・安全なプールの維持に努めます。</p>	5
15	オリンピックで使った施設の費用を国に出してもらおうよう要求し、維持管理費を捻出してほしい。	オリンピック施設は、市有施設であり維持管理を市が負担することを大会招致時に定められています。また、オリンピックで使用したアクアウィング等は、多くの市民の方が利用しています。	5

## 3

## 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
16	<p>犀南市民プールの近くに住んでいるが、子どもが自分達で行ける距離に安い料金で入れるプールがあるのは水に親しむ大切な場所。</p> <p>小学校では2学期のプールが無くなり、子ども達が泳ぐ練習はどこですればいいのか。子ども達が移動できる範囲でプールに親しめる環境を希望する。</p> <p>茶臼山、犀南、青垣で1つとは大人の考え。</p>	<p>利用者が大幅に減少する中、安心・安全なプールの維持のため、全てのプールを維持することは困難であり、アクセスや利便性の観点から市内を3つのエリアに分けて、市内に屋内プールと屋外プールがバランスよく配置されるよう考慮しました。</p>	5
17	<p>身近な小・中学校のプールを学生だけでなく市民に開放できれば良いと思う。運営を委託すれば学校に負担はない。</p>	<p>不特定多数の方が利用することになるため、防犯対策が必要になることや更衣室、ロッカー、駐車場等の増設も必要となります。また、運営を委託する場合、市民プールと同様に監視員等の経費が必要になります。</p>	4



## 4 今後のスケジュール

日 程	項 目	内 容
4月8日	市議会政策説明会	<ul style="list-style-type: none"><li>• パブリックコメントの結果報告</li><li>• 計画の決定について</li></ul>
4月9日	記者会見	//